

言い過ぎにしっぺ返しがじわじわと

藤井 節子

同じ事ボケた振りして妻に聞く

今川 昇

最後まで持ち続けた好奇心

寺畑 俊子

観月会庭師たちとのコラボ冴え

竹本 タエ子

何着よか心そわそわ同期会

磯部 佳子

いいすぎにしっぺがえしがじわじわと

ふじい せつこ

おなじことぼけたふりしてつまにきく

いまがわ のぼる

さいごまでもちつづけたいこうきしん

てらはた としこ

かんげつかいにわしたちとのくらぼさえ

たけもと たえこ

なにきよかこころそわそわどうきかい

いそべ よしこ

そっと手に見舞の桃や笑み返へる

村瀧 富子

玄関へドンと置かるる今年米

春吉 智子

袋よりあふれる香り大りんご

貞弘 和子

柿日和黄ばむ畳の文机

林 保江

見晴らしや乳牛の背に秋の蝶

馬場 精作

そっとてにみまいのももやえみかえる

むらたき とみこ

げんかんへどんとおかるることしまい

はるよし ともこ

ふくろよりあふれるかおりおおりんご

さだひろ かずこ

かきびよりきばむたたみのふみづくえ

はやし やすえ

みはらしやにゆうぎゅうのせにあきのちょう

ばば せいさく

秋風に山の麓の老健の
布のおしめはやさしく踊る

山口 正子

十五夜に宇宙の話で弾んだよ
月で家族が一つになった

賤間 星

猛暑のなか心をこめて作られし
ミニトマトはサラダにルビーの色して

河野 敬子

土手に咲く真紅の色の彼岸花
坂を下れば水面に映ゆる

川本 禮子

花愛でるやさしいあなたにあえなくて
お別れになり星空仰ぐ

中司 和子

あきかぜにやまのふもとのろうけんの
ぬののおしめはやさしくおどる

やまぐち まきこ

じゅうごやにうちゅうのはなしではずんだよ
つきでかぞくがひとつになった

ざいま せい

もうしよのなかこころをこめてつくられし
みにとまとはさらだにるびーのいろして

かわの としこ

どてにさくしんくのいろのひがんな
さかをくだればみなもにはゆる

かわもと れいこ

はなめでるやさしいあなたにあえなくて
おわかれになりほしぞらあおぐ

なかつか かずこ

深い皺に一筋の涙 能登豪雨

吉野 俊夫

切手足りなくて会いにゆく

佐川 智英実

部屋にのこった杖とベッドと人生の手本

西岡 悦子

古びたコートに父の哀しみ

池田 幸

お喋りしている間に朝顔咲いた

岡村 裕司

ふかいしわにひとすじのなみだ のとごうう

よしの としお

きってたりなくてあいにゆく

さがわ ちえみ

へやにのこったつえとべつどとじんせいのでほん

にしおか えつこ

ふるびたこーとにちちのかなしみ

いけだ みゆき

おしゃべりしているまにあさがおさいた

おかむら ひろし

